

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-本-006-01改01
提出年月日	2023年4月6日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料

放射性廃棄物の廃棄施設のうち

気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備

(固体廃棄物貯蔵設備)

(本文)

2023年4月

中国電力株式会社

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

放射性廃棄物の廃棄施設

1. 気体，液体又は固体廃棄物貯蔵設備

1.1 固体廃棄物貯蔵設備

(2) 容器

- ・原子炉浄化系樹脂貯蔵タンク（1，2号機共用）
- ・復水スラッジ分離タンク（1，2号機共用）
- ・機器ドレンスラッジ分離タンク（1，2号機共用）
- ・復水系スラッジ貯蔵タンク（1，2号機共用）
- ・復水系樹脂貯蔵タンク（1，2号機共用）

放射性廃棄物の廃棄施設

1. 気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備に係る次の事項

1.1 固体廃棄物貯蔵設備

(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに漏えい防止のための制御方法

		変更前		変更後				
名	称	原子炉浄化系樹脂貯蔵タンク (1, 2号機共用)		変 更 な し				
種	類	たて置円筒形						
容	量	m ³ /個	215 以上* ¹ (235* ²)		215 以上* ¹ (260* ²)			
最	高	使	用		圧	力	MPa	静水頭
最	高	使	用		温	度	℃	66
主 要 寸 法	胴	内	径		mm	5600* ²		
	胴	板	厚		さ	mm	□* ³ (12.0* ²)	
	鏡	板	厚		さ	mm	□* ³ (12.0* ²)	
	鏡板の形状に係る寸法* ³		mm		5600* ² (鏡板の中央部における内面の半径)			
					560* ² (鏡板のすみの丸みの内半径)			
	平		板		厚	さ* ¹	mm	6.0* ²
	管		台		外	径(使用済樹脂入口)* ¹	mm	89.1* ²
	管		台		厚	さ(使用済樹脂入口)* ³	mm	□(5.5* ²)
	管		台		外	径(分離水出口)* ¹	mm	76.3* ²
	管		台		厚	さ(分離水出口)* ³	mm	□(5.2* ²)
	管		台		外	径(使用済樹脂入口)* ¹	mm	34.0* ²
	管		台		厚	さ(使用済樹脂入口)* ³	mm	□(4.5* ²)
	管		台		外	径(オーバーフロー)* ¹	mm	114.3* ²
管		台	厚		さ(オーバーフロー)* ³	mm	□(6.0* ²)	
高		さ* ⁴			mm	10406* ²	11406* ²	
材	胴	板	—		SUS304			
	鏡	板	—		SUS304			
個		数			—	1	1	
漏えい防止のための制御方法* ⁵		—		水位高による規定時間洗浄運転後受入 ポンプ自動停止回路及び受入弁自動閉 回路 水位高高による受入ポンプ自動停止回 路				

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

- *2：公称値を示す。
- *3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 59 年 9 月 17 日 付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-2-6 原子炉浄化系樹脂貯蔵タンクの強度計算書」による。
- *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高 10900, 11900」と記載。記載内容は、設計図書による。
- *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載

		変更前	変更後
名	称	復水スラッジ分離タンク (1, 2号機共用)	
種	類	—	たて置円筒形
容	量	m ³ /個	97 以上* ¹ (108* ²)
最	高 使 用 圧 力	MPa	静水頭
最	高 使 用 温 度	°C	66
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	5600* ²
	胴 板 厚 さ	mm	□* ³ (12.0* ²)
	鏡 板 厚 さ	mm	□* ³ (12.0* ²)
	鏡板の形状に係る寸法* ³	mm	5600* ² (鏡板の中央部における内面の半径)
			560* ² (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平 板 厚 さ* ¹	mm	6.0* ²
	管台外径(フィルタスラッジ入口)* ^{1, *4}	mm	114.3* ²
	管台厚さ(フィルタスラッジ入口)* ^{3, *4}	mm	□ (6.0* ²)
	管台外径(フィルタスラッジ入口)* ^{1, *5}	mm	34.0* ²
	管台厚さ(フィルタスラッジ入口)* ^{3, *5}	mm	□ (4.5* ²)
	管台外径(第一分離水出口)* ¹	mm	89.1* ²
	管台厚さ(第一分離水出口)* ³	mm	□ (5.5* ²)
	管台外径(第二分離水出口)* ¹	mm	216.3* ²
	管台厚さ(第二分離水出口)* ³	mm	□ (8.2* ²)
管台外径(フィルタスラッジ出口)* ¹	mm	216.3* ²	
管台厚さ(フィルタスラッジ出口)* ³	mm	□ (8.2* ²)	
高	さ* ⁶	mm	5306* ²
材 料	胴 板	—	SUS304
	鏡 板	—	SUS304
個	数	—	2
漏えい防止のための制御方法* ⁷		—	水位高による規定時間洗浄運転後タンク入口弁自動閉回路 水位高高によるタンク入口弁自動閉回路

変 更
な し

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：公称値を示す。

*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 59 年 9 月 17 日付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-2-1 復水スラッジ分離タンクの強度計算書」による。

*4：管台符号 N1 を示す。

*5：管台符号 N10 を示す。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高 6100」と記載。記載内容は設計図書による。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載

		変更前	変更後	
名	称	機器ドレンスラッジ分離タンク (1, 2号機共用)		
種	類	—	たて置円筒形	
容	量	m ³ /個	30 以上* ¹ (108* ²)	
最	高 使 用 圧 力	MPa	静水頭	
最	高 使 用 温 度	°C	66	
主 要 寸 法	胴	内 径	mm	5600* ²
	胴	板 厚 さ	mm	<input type="text"/> * ³ (12.0* ²)
	鏡	板 厚 さ	mm	<input type="text"/> * ³ (12.0* ²)
	鏡板の形状に係る寸法* ³		mm	5600* ² (鏡板の中央部における内面の半径)
				560* ² (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平	板 厚 さ* ¹	mm	6.0* ²
	管	台外径(フィルタスラッジ入口)* ¹ , * ⁴	mm	114.3* ²
	管	台厚さ(フィルタスラッジ入口)* ³ , * ⁴	mm	<input type="text"/> (6.0* ²)
	管	台外径(フィルタスラッジ入口)* ¹ , * ⁵	mm	34.0* ²
	管	台厚さ(フィルタスラッジ入口)* ³ , * ⁵	mm	<input type="text"/> (4.5* ²)
	管	台外径(第一分離水出口)* ¹	mm	89.1* ²
	管	台厚さ(第一分離水出口)* ³	mm	<input type="text"/> (5.5* ²)
	管	台外径(第二分離水出口)* ¹	mm	216.3* ²
	管	台厚さ(第二分離水出口)* ³	mm	<input type="text"/> (8.2* ²)
管	台外径(フィルタスラッジ出口)* ¹	mm	216.3* ²	
管	台厚さ(フィルタスラッジ出口)* ³	mm	<input type="text"/> (8.2* ²)	
高	さ* ⁶	mm	5306* ²	
材 料	胴	板	—	SUS304
	鏡	板	—	SUS304
個	数	—	1	
漏えい防止のための制御方法* ⁷		—	水位高による規定時間洗浄運転後タンク入口弁自動閉回路 水位高高によるタンク入口弁自動閉回路	

変 更
な し

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：公称値を示す。

*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 59 年 9 月 17 日付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-2-2 機器ドレンスラッジ分離タンクの強度計算書」による。

*4：管台符号 N1 を示す。

*5：管台符号 N6 を示す。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高 6100」と記載。記載内容は、設計図書による。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載

		変更前		変更後				
名	称	復水系スラッジ貯蔵タンク (1, 2号機共用)		変 更 な し				
種	類	— たて置円筒形						
容	量	m ³ /個	232 以上* ¹ (235* ²)		232 以上* ¹ (260* ²)			
最	高	使	用		圧	力	MPa	静水頭
最	高	使	用		温	度	°C	66
主 要 寸 法	胴	内	径		mm	5600* ²		
	胴	板	厚		さ	mm	□* ³ (12.0* ²)	
	鏡	板	厚		さ	mm	□* ³ (12.0* ²)	
	鏡板の形状に係る寸法* ³	mm	5600* ² (鏡板の中央部における内面の半径)					
			560* ² (鏡板のすみの丸みの内半径)					
	平	板	厚		さ	* ¹	mm	6.0* ²
	管	台	外		径	(フィルタスラッジ入口)* ¹	mm	34.0* ²
	管	台	厚		さ	(フィルタスラッジ入口)* ³	mm	□ (4.5* ²)
	管	台	外		径	(第一分離水出口)* ¹	mm	76.3* ²
	管	台	厚		さ	(第一分離水出口)* ³	mm	□ (5.2* ²)
	管	台	外		径	(第二分離水出口)* ¹	mm	76.3* ²
	管	台	厚		さ	(第二分離水出口)* ³	mm	□ (5.2* ²)
高	さ	* ⁴	mm		10406* ²	11406* ²		
材 料	胴	板	—		SUS304			
	鏡	板	—		SUS304			
個	数	—	1	2				
漏えい防止のための制御方法* ⁵		—	水位高による規定時間洗浄運転後タンク入口弁自動閉回路 水位高高によるタンク入口弁自動閉回路					

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：公称値を示す。

*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 59 年 9 月 17 日付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-2-3 復水系スラッジ貯蔵タンクの強度計算書」による。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高 10900, 11900」と記載。記載内容は、設計図書による。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載

		変更前		変更後				
名	称	復水系樹脂貯蔵タンク (1, 2号機共用)		変 更 な し				
種	類	—	たて置円筒形					
容	量	m ³ /個	125 以上* ¹ (235* ²)					
最	高	使	用					
圧	力	MPa	静水頭					
最	高	使	用					
温	度	°C	66					
主 要 寸 法	胴	内	径		mm	5600* ²		
	胴	板	厚		さ	mm	<input type="text"/> * ³ (12.0* ²)	
	鏡	板	厚		さ	mm	<input type="text"/> * ³ (12.0* ²)	
	鏡板の形状に係る寸法* ³		mm		5600* ² (鏡板の中央部における内面の半径)			
					560* ² (鏡板のすみの丸みの内半径)			
	平		板		厚	さ* ¹	mm	6.0* ²
	管台外径(使用済樹脂入口)* ¹ , * ⁴				mm	114.3* ²		
	管台厚さ(使用済樹脂入口)* ³ , * ⁴				mm	<input type="text"/> (6.0* ²)		
	管台外径(使用済樹脂入口)* ¹ , * ⁵				mm	34.0* ²		
	管台厚さ(使用済樹脂入口)* ³ , * ⁵				mm	<input type="text"/> (4.5* ²)		
	管台外径(分離水出口)* ¹				mm	76.3* ²		
	管台厚さ(分離水出口)* ³				mm	<input type="text"/> (5.2* ²)		
	管台外径(オーバーフロー)* ¹				mm	139.8* ²		
管台厚さ(オーバーフロー)* ³				mm	<input type="text"/> (6.6* ²)			
高		さ* ⁶		mm	10406* ²			
材 料	胴	板	—	SUS304				
	鏡	板	—	SUS304				
個	数	—	1					
漏えい防止のための制御方法* ⁷		—	水位高による規定時間洗浄運転後受入 ポンプ自動停止回路及び受入弁自動閉 回路 水位高高による受入ポンプ自動停止回 路					

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：公称値を示す。

*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 59 年 9 月 17 日
付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-2-5 復水系樹脂貯蔵
タンクの強度計算書」による。

*4：管台符号 N1 を示す。

*5：管台符号 N2 を示す。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高 10900」と記載。記載内容は、設計図書による。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載